

平成 24 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録（案）

日時：平成 24 年 10 月 12 日（金） 17:30～19:45

場所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館 210 号室（社会基盤工学専攻大会議室）

出席者：宮池会長，水野(1 期)，高瀬(2 期)，南川(3 期)，大澤(4 期)，遠山(5 期)，堤(6 期)，浜嶋(8 期・関西支部)，寺島(8 期)，伊藤(11 期・教員幹事)，田中(13 期)，磯部(14 期)，向井(15 期)，大東(16 期)，織田(17 期)，西岡(18 期代理)，滝本(20 期・東京支部)，後藤(21 期)，加藤隆(22 期)，中村光(23 期)，野田(25 期)，鈴木(26 期)，石川(27 期)，加藤博(28 期・幹事長)，荻野(30 期)，石川(31 期)，水野和(32 期)，三輪(34 期・会計)，中井(36 期・会計)，判治(37 期・しゃち)，田賀(38 期)，柴原(38 期・名簿)，上田(39 期・名簿)，渡邊(40 期代理)，二井内(41 期)，崔(42 期・留学生)，奥岡(44 期)，三室(45 期)，吉川(46 期代理)，唐津(47 期代理・学生会)，藤田(48 期)，長谷川・石田(49 期) 合計 43 名

■役員会に先立ち，会長・幹事長からの挨拶および幹事自己紹介（資料 24-2-0）があった。

報 告

1. 鏡ヶ池会総会報告（資料 24-2-1）（加藤）
 - ・ 7 月 6 日（金）に名古屋ガーデンパレスにて開催された。
 - ・ 参加者は約 100 名。全議案について了承された。
 - ・ 総会後のパーティーも盛大に行われた。
2. 平成 24 年度上半期会計報告（資料 24-2-2）（中井）
 - ・ 10 月 1 日までの会費決算報告がなされた。基本的に例年通りだが，各支部への振り込みが未実施のため，至急送付する。
3. 会費納入報告（資料 24-2-3）（中井）
 - ・ 納入状況について報告がなされた。
 - ・ 若い期の方々の自動引き落としシステムが転勤などに伴う口座変更等などの理由でうまく機能していないため，資料に掲載している納入割合は減少となっている。今後，口座の変更を伝えて頂くよう周知する予定。

4. 後援基金報告（資料 24-2-4）（中井）
- ・後援基金の使用ルールについての説明がなされた。以前からの変更点として、留学生向けのニュースレターの作成を基金に入れるというルールの確認が説明された。
 - ・50周年誌の追加購入時の代金は基金にカウントされるか否かについては、基金としてカウントすることとなった。
5. 支部活動報告
- 1) 東京支部（資料 24-2-5-1）（若林）
- ・現在の活動状況と今後の活動方針について報告があった。
 - ・若い期が参加してこないため、改善策が必要。同窓会などの集まりに補助金を出す制度を設けることとした。40期以降の人間は参加無料なため、ぜひ参加してほしい。
- 2) 関西支部（資料 24-2-5-2）（浜嶋）
- ・若手懇親会、幹事会、支部役員会などの活動状況と活動予定が報告された。
 - ・支部大会でのミニ講演会が好評であったことが報告された。
 - ・今後の活動として、ホームカミングデイの呼びかけ、関西銀しゃち会の案内などを予定。
6. 教室近況報告（資料 24-2-6）（伊藤）
- ・教員・職員については特に変更なし。
7. 学生会活動報告（資料 24-2-7）（唐津）
- ・名大祭土木展（6月9日）、ソフトボール大会（9月30日）の開催および会計について報告された。
8. 留学生関連活動報告（資料 24-2-8）（崔）
- ・留学生向けに、英文のニュースレターが発行されたことが報告された。
9. その他
- ・ホームカミングデイ（10月20日）の案内があった。土木系ではニューブリッジの見学会とセグウェイの試乗会が開催される。

議 事

1. 平成 24 年度第 1 回鏡ヶ池会議事録（案）（資料 24-2-9）（加藤）
- ・議事録案が承認された

2. 「しゃち No.53」編集方針（資料 24-2-10）（判治）
- ・編集方針案の説明があった。大枠の変更は前回から特になし。了承された。
3. 「会員名簿 No.48」編集方針（資料 24-2-11）（柴原）
- ・編集経過と今後の予定が報告された。
 - ・幹事からのデータ提出状況では、5つの期から現在連絡がない。
4. 名簿の電子化について（資料 24-2-12）（柴原）
- ・CD-R 版鏡ヶ池会名簿（しゃちの付録とする）の見積もりについての報告があった。
 - ・昨年度比約 61%削減可能。
 - ・来年度からの電子化に向けて今後準備する。
5. 「銀しゃち」について（資料 24-2-13）（加藤）
- ・銀しゃち第 2 号発行の経緯についての説明がなされた。
 - ・編集担当の選出については、次号のしゃちで公募し、次回の役員会で議論することが決定した。公募により編集担当が決まればその方をお願いして再来年の発行をめざし、決まらなければ発行を見送る方針とした。
 - ・一般事務費について高額ではないかとの指摘があり、その内容について編集担当に確認することとなった。

以上